

第 2 回協議会からの主な変更点

No	ページ	変更後	変更前
1	4	温室等の施設を利用し年に数回転の生産を行うなど、収益性の高い経営が行われています。	温室等の施設を利用し年に数回転の生産を行うことで収益性の高い経営など、消費地の中での生産という条件を活かし、野菜を中心に多様な作物を生産する農業者も多く存在します。
2	17	<p>農作物は、天候や病虫害等によって生産量や品質が大きく左右される上、出荷量の調整が難しく、市場における供給と需要によって価格変動しやすい特徴があります。近年では、産地における大規模化や企業参入、海外からの農産物輸入などの影響を受け、農産物販売価格は下降傾向にあるなど、農業は他の産業と比べると不安定な経営状態に陥りやすい状況となっています。</p> <p>本市では、2010年（平成21年）12月に開設された、JAさがみが運営する農産物の大型直売所「ファーマーズマーケットわいわい市 藤沢店」の設置にあたり、市内農業者の安定的な農業経営を図るため支援を行っています。</p> <p>今後も農業経営の安定化を図るため、産地競争力の強化に向けた農産物の特産化や品質の高い農産物の安定生産、農業者自らの経営改善に対する支援、女性の力を活かした経営発展を促進するため、女性の農業進出や経営参画の支援を進めていくことが必要です。</p>	<p>本市は、2010年（平成21年）12月に開設された、JAさがみが運営する農産物の大型直売所「ファーマーズマーケットわいわい市 藤沢店」の設置にあたり、市内農業者の安定的な農業経営を図るため支援を行いました。</p> <p>農作物は、天候や病虫害等によって生産量や品質が大きく左右される上、出荷量の調整が難しく、市場における供給と需要によって価格変動しやすい特徴があります。近年では、産地における大規模化や企業参入、海外からの農産物輸入などの影響を受け、農産物販売価格は下降傾向にあるなど、農業は他の産業と比べると不安定な経営状態に陥りやすい状況となっています。</p> <p>このことから、産地競争力の強化に向け、農産物の特産化や品質の高い農産物の安定生産を図る必要があります。</p> <p>また、農業者自らの経営改善に対する支援を行うとともに、女性の力を活かした経営発展を促進するため、女性の農業進出や経営参画の支援を進めていくことが必要です。</p>
3	17	2020年（令和2年）11月に、地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や購買動向などを把握するため、市民3,000人を対象にアンケート調査を実施しました。この調査では、53%にあたる約1,600人の方から回答があり、「購入する農水産物の産地に関して藤沢産のものであることをどの程度気にしているか」の設問に対して、「かなり気にしている」「ある程度気にしている」と回答した方が47%、「藤沢産の農水産物を購入して地産地消を応援しようと思うか」との設問に対して、「既に応援している」「応援したいと思う」と回答した方が89%となりました。この結果から、	令和2年11月に、藤沢市が実施した地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や購買動向などを把握するため、市民3,000人を対象にアンケート調査を実施した結果、53%にあたる約1,600人の方から回答がありました。購入する農水産物の産地に関して藤沢産のものであることをどの程度気にしているかの設問に対して、「かなり気にしている」「ある程度気にしている」と回答した方が47%、藤沢産の農水産物を購入して地産地消を応援しようと思うかとの設問に対して、「既に応援している」「応援したいと思う」と回答した方89%となったことから、
4	23	担い手の高齢化や労働力不足を解消するため、自動収穫ロボットや無人草刈ロボット、アシストスーツなど、ロボット技術やICT※19、AI（人工知能）、IoT※20等の先端技術の導入に対する支援【新規】	担い手の高齢化や労働力不足を解消するため、ロボット技術やICT※20、AI（人工知能）、IoT※21等の先端技術の導入に対する支援
5	25	<p>○センサーやカメラ等から収集されるデータを分析し栽培や経営の効率化や高度化について助言・支援するソフトウェアの導入など、データ駆動型農業経営の実現に向けた先端技術の導入に対する支援【新規】</p> <p>○農業者が行う法令に基づく認定申請手続きや、補助金及び交付金の交付申請のデジタル化の推進【新規】</p>	<p>○ICTやロボット技術、AI等の先端技術の導入に対する支援</p> <p>○法令に基づく申請や、補助金及び交付金の申請のデジタル化の推進</p>
6	29	農業生産活動は自然界の物質循環を活かしながら行われており、環境と調和した持続可能な農業の展開が重要となることから、環境に配慮した農業の推進や畜産環境対策等に取り組んでいきます。	農地は緑地機能や災害の防止機能、景観形成の役割も担っています。また、農業生産活動は自然界の物質循環を活かしながら行われており、環境と調和した持続可能な農業の展開が重要となることから、環境に配慮した農業の推進や畜産環境対策等に取り組んでいきます。
7	29	<p>○環境保全型農業の推進</p> <p>○カーボンニュートラル※27の実現に向けた、スマート農業等によるゼロエミッション化、有機農業の推進等の取組による環境負荷軽減の推進【新規】</p>	<p>○環境保全型農業や有機農業の推進</p> <p>○カーボンニュートラル※28やゼロエミッションの取組による環境負荷軽減の推進</p>
8	30・31	【追加】第1次計画と第2次計画の比較表	